

相鉄いずみ野線沿線 まちづくりについて

平成28年12月13日
相鉄ホールディングス(株)

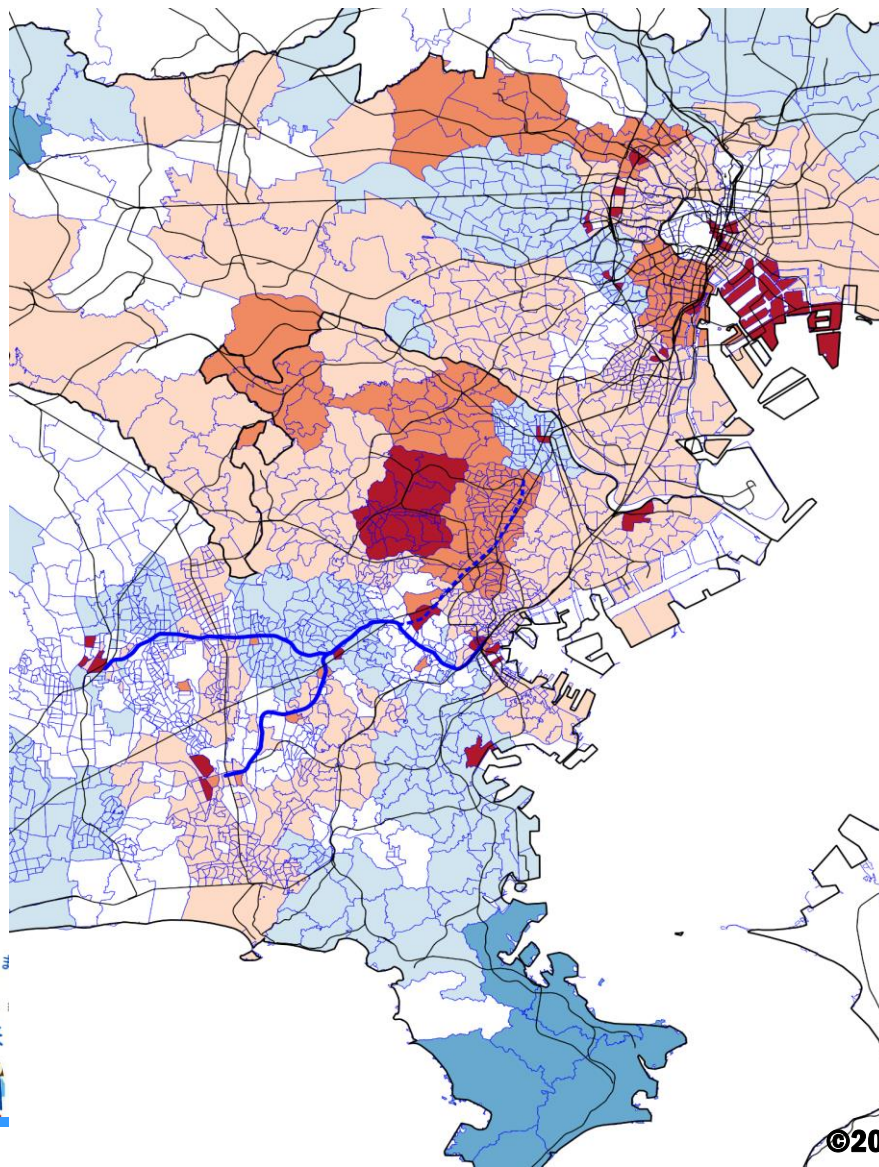


目次

1. 神奈川東部方面線の整備について
2. 相鉄線沿線 各開発プロジェクトの概要について
3. リノベーションに連動したエリアマネジメントの取り組み
(相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市)



初めに 相鉄線沿線の人口増減率（H32/H22）



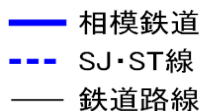
人口問題研究所の将来予測値（2013年3月時点）をベースに、各種開発プロジェクトを考慮したもの

凡例

人口増減率（H32/H22）



相鉄・東急・京急・STSJ線



東京都心への相互直通運転（神奈川東部方面線）

①相互直通運転の概要・効果 i

【1】西谷駅周辺

➢線路の下にトンネルを構築するための掘削作業が進められている

【2】羽沢駅(仮称)工事

➢地下部分(ホーム)の側壁・天井を施工
 ➢ホーム階の躯体完成後、その上に駅舎を建設



羽沢駅(仮称)完成イメージ

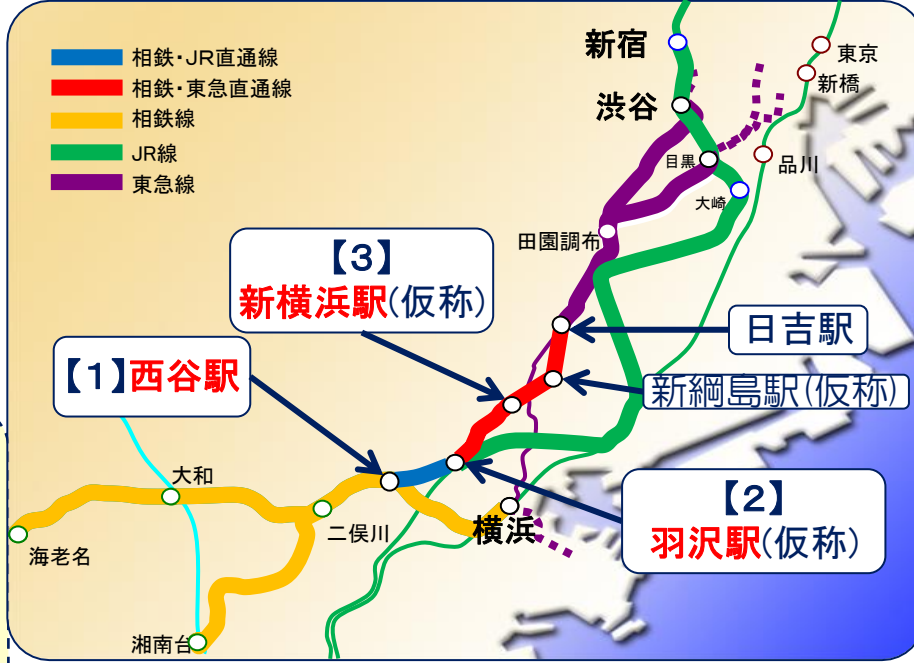
提供:鉄道・運輸機構
 ※このイメージパースは計画中のものであり、確定したものではありません。

【コンセプト】人と触れ合う、自然と触れ合う、
 風景と共生する駅

【3】新横浜駅(仮称)工事

➢環状2号線の下に駅の本体壁を施工

環境未来都市



相鉄・JR直通線		所要時間短縮例	相鉄・東急直通線	
二俣川駅	現行 59分	開業後 44分	二俣川駅	現行 54分
新宿駅		約15分短縮	目黒駅	開業後 38分
				約16分短縮
湘南台駅	現行 60分	開業後 51分	湘南台駅	現行 49分
渋谷駅		約9分短縮	新横浜駅	開業後 23分
				約26分短縮

東京都心への相互直通運転（神奈川東部方面線）

①相互直通運転の概要・効果 ii

乗り入れ後の効果

直結すると・・・

●所要時間が短縮や新幹線（新横浜）へのアクセスが向上

相鉄・JR直通線開業後の
主要駅への所要時間

開業後**44分**



現行**59分** [約**15分**短縮]

相鉄・東急直通線開業後の
主要駅への所要時間

開業後**38分**



現行**54分** [約**16分**短縮]

開業後
現行 **42分** → **19分**
約 **23分**短縮



相鉄グループが目指しているものは、、、



鉄道ネットワーク機能の充実により地域の発展に貢献

②ブランドアッププロジェクト

創立100周年 相互直通運転を見据えて
『選ばれる相鉄グループ・選ばれる相鉄線沿線』を実現

■トータルイメージコンセプト（総合デザイン監修「水野 学」氏、「洪恒夫」氏）

- 目先のトレンドに左右されない
「古くならないデザイン」
「普遍的な色」
- 古くなるのではなく、
積み重なり「醸成」する鉄道



※これらのイメージパースは計画中のものであり、確定したものではありません。

相鉄線沿線ブランドアップ戦略の推進

創立
100周年

JR線・東急線
相互直通運転

②ブランドアッププロジェクト

相互直通運転を見据えたブランドアップ戦略

- **ヨコハマネイビーブルー**の新塗装車両
- 車両・駅舎・制服も含めたりリニューアル



英国スコットランド製の本革を
採用した4人掛けシート

安全性・快適性・利便性

- 横浜駅にホームドアを設置・運用開始
- 調色・調光機能つき車内照明



ホームドア



昼と夜で
自動調光

目次

1. 神奈川東部方面線の整備について

2. 相鉄線沿線 各開発プロジェクトの概要について

3. リノベーションに連動したエリアマネジメントの取り組み
(相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市)



二俣川駅南口再開発事業

- 従来の商業施設の解体工事が完了、**駅舎新築工事に着手**
- グレースシアタワー二俣川の**販売**



■ 駅直結概念イラスト

※このイメージパースは計画中のものであり、
確定したものではございません。

- 施工地区面積…約1.9ha
- 施設概要…<延べ面積>約98,360㎡
<用途>共同住宅(421戸)・商業・オフィス・公益施設・交通広場
<高さ>約99.5m(29階建) <竣工>2018年3月予定



・南万騎が原駅周辺エリアでの取組

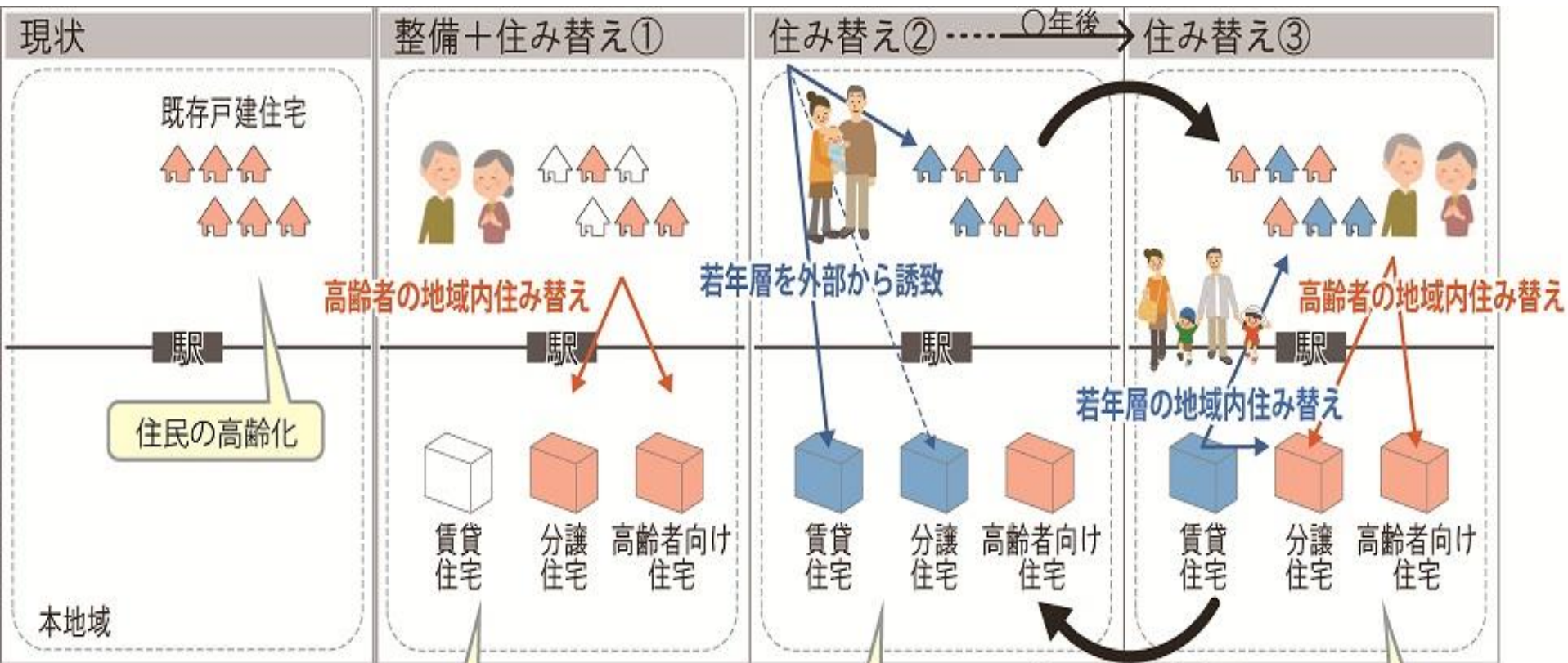
プロジェクト概要～地域に必要とされる機能を駅前に導入～

- 駅距離の課題 : 周辺から駅前の集合住宅に住み替え
- 買い物利便性 : 駅前商業施設のリニューアルによる活性化
- 医療福祉施設の不足 : 駅前にクリニック、高齢者住宅、保育園等を整備
- 通勤・通学時間の短縮 : 都心への相互直通運転による時間距離短縮



南万騎が原駅周辺エリアでの取組

住み替え循環モデルの推進を通じた 多世代が交流できるまちづくり



- 地域に不足する住宅を整備
- 地域内の既存戸建てに居住する高齢者が駅前へ住み替え
- 結果、既存戸建てに「空き」が発生

- 空いた既存戸建てに地域外から若年層を誘致

- 高齢者向け住宅等に「空き」が発生
- 空いた駅前住宅へ既存戸建てに居住する高齢者が住み替え
- 結果、既存戸建てに「空き」が発生

いずみ野駅周辺リノベーションプロジェクト



※このイメージパースは計画中のものであり、確定したものではありません。

※相鉄ライフいずみ野

「ロコマルシェ」をコンセプトに地域密着型の商業施設の魅力を高め、28年8月31日にグランドオープン。



ゆめが丘土地区画整理事業

「横浜市都市計画マスタープラン・泉区プラン」において“新たなにぎわい・交流をはぐくむ市街地の形成に向けた取り組みを進める地区”として位置づけられています。

相鉄いずみ野線「ゆめが丘駅」と横浜市営地下鉄線「下飯田駅」に近接し、幹線道路環状4号線が縦断するこの地域に商業施設・集合住宅・戸建住宅・ロードサイド型店舗などが計画されています。



請願道路へ連絡する道路。両脇は複合利用地区となります。

施工面積：239,265.20m²
計画人口：約5,200人

平成33年3月事業完了予定

※このページの完成予想図は計画段階のものであり、変更となる場合があります。

環境未来都市



目次

1. 神奈川東部方面線の整備について
2. 相鉄線沿線 各開発プロジェクトの概要について
3. リノベーションに連動したエリアマネジメントの取り組み
(相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市)



相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市について

平成25年4月「相鉄いずみ野線沿線 次代のまちづくりの推進に関する協定」締結（横浜市・相鉄ホールディングス(株)）

【取り組み事項】

- 地域資源の活用等を通じた、まちの魅力づくりに関する事項
- 子育て世代、高齢者等への支援に関する事項
- 環境・エネルギー等に関する事項
- 地域コミュニティの発展に関する事項
- その他地域の課題解決に資する事項

【参加企業・団体】

- 東京ガス、日揮、NTTファシリティーズ、日立製作所
横浜国立大学、フェリス女学院大学



共通課題 住民の高齢化や若年層の流出、インフラの老朽化など



相鉄いずみ野線沿線のこれからのまちづくりの視点

相鉄いずみ野線沿線をどのようなまちにしていくか、まちの将来像を考える上で、沿線地域にお住まいの皆様に加えて、これからお住まいになる方々とも共有するためにまとめた、まちづくりのコンセプト

- 地域経済の循環により豊かな価値を創るまち
- 多様なサービスが連携するヨコツナギのまち
- 複合型ライフスタイルによる支えあいのまち
- 生活創造都市づくりによるチャレンジのまち
- 地域内移動の活性化による楽しいまち
- 持続可能な仕組みによる安心・安全なまち



横浜国立大学・フェリス女学院大学との連携



横浜国立大学・フェリス女学院大学・相鉄ホールディングス・横浜市で相鉄いずみ野線沿線における「次代のまちづくり」を学・産・公連携で進めるために、今年の6月に四者連携覚書を締結。



・南万騎が原駅周辺エリアでの取組

駅前広場を地域の皆様とともにつくる



『みなまきの広場をみんなでつくろう!』 ワークショップ



・ 緑園都市駅周辺エリアでの取組

えきばた会議「12のアイデア集」実現第1弾 「街カフェ」



地域の女性たちが中心となって、企画・運営するオープンカフェ「街カフェ」を定期的に駅前広場で実施しています。回を重ねるごとに、いろいろな主体を仲間に巻き込みながら行って、まちの中での交流が広がっています。



・いずみ野駅周辺エリアでの取組

いずみ野マルシェ

泉区産野菜の販売や、それを使った料理の試食を行うマルシェを定期的を実施することで、地域の魅力の発信やコミュニティの場作りに貢献しています。また、フェリスエコキャンパス研究会とヴィ・ド・フランスとのコラボレーションによるパンの販売などを併せて行うなど、沿線他地域の活動主体と積極的にコラボレーションする取組を進めています。



・いずみ野駅周辺エリアでの取組

地産地消料理教室企画

東京ガスライフバルのショールームを会場とし、泉区の農家によって栽培された野菜などを用いた、地産地消でエコな料理教室を実施しています。

また、地域の取組であるいずみ野小学校の「スーパー給食」のメニューを提供する企画も実施しています。



今後の取組の展開イメージ

取組を沿線の他地域にも展開させていき、沿線全体でまちの魅力を高めていきます。

教育やスポーツ、自然、健康、住宅地、農など様々な地域資源をつなげていき、みらいに向けたまちの暮らしを実現・発信していきます。



地域の皆さまや大学、行政、企業など様々な主体が立場の違いを超えて、共有体験を重ねることにより、協働・連携の機運を高めていくことが成功のキーポイントと考えます。

